

# 平成29年度第1回東大和市公民館運営審議会会議録

日 時 平成29年4月20日（木） 午後3時～5時

場 所 中央公民館・視聴覚室

出席者 （委員）10人

（職員）真如教育長、尾又中央公民館長、平野中央公民館事業係長、北野南街公民館長、佐野狭山公民館長、三宅蔵敷公民館長、蓑田上北台公民館長、五十嵐主事（記録）

欠 席 1人

## ・【内容】

### ・審議事項

#### ・①平成29年度公民館運営審議会定例会の日程について

委 員：それでは、審議事項の①平成29年度公民館運営審議会定例会の日程について議題といたします。尾又中央公民館長お願いいたします。

尾又館長：資料1をご覧ください。平成29年度公民館運営審議会定例会の日程で開催したいと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。

委 員：ご質問があればお願いします。特にならなければ、案を消しこんでいただき、それぞれよろしくお願いいたします。

#### ・②「平成29年度当初予算の概要について」を議題と致します。

委 員：それでは、審議事項②「平成29年度当初予算の概要について」を議題と致します。尾又中央公民館長お願い致します。

尾又館長：まず、中央公民館予算概要を説明させていただきます。数字につきましては、全ては読み上げませんので、目で追っていただきたいと思います。

資料2-0、社会教育部関係予算資料 各課における特徴的な事業【公民館】をご覧ください。社会教育委員会に提出した資料を使用しております。事業面では「平成29年度市長村共同事業多摩・島しょわがまち活性化事業助成金」によります「ここがふるさと東大和の魅力発見・発信し隊」事業が3年目と成ります。3年間にわたって各年300万円の助成を受け、「東大和をもっともっと、住んでいる人には楽しくて、たくさんの方が訪ねてきてくれるまちにする」ための活動に取り組んでおります。

市民大学は企画運営委員養成講座を実施し、企画運営体制の確立を目指します。

狭山・蔵敷公民館では通常の学習室で保育を実施しておりましたが、参加者が減少気味であることから、安全・安心・衛生的な南街・上北台公民館に保育者賃金を移して講座を2講座ずつ実施いたします。

施設面では中央公民館で消火器・非常用発電機蓄電池・放送卓の交換を実施します。

また、狭山公民館の畳替えと男子小便器の自動オート水洗取付工事を実施します。平成29年度社会教育部歳出予算総括表、中央公民館関係費をご覧ください。

中央公民館事業費は、3827万1千円で、149万2千円の増となっております。

南街公民館事業費は、374万8千円で、前年度比38万9千円の増となっております。

狭山公民館事業費は、1718万3千円で46万円の増となっております。

蔵敷公民館事業費は、1153万7千円で110万2千円の減となっております。

新堀地区会館で行う公民館事業費は19万7千円で4万円の減となっております。

上北台公民館事業費は、358万1千円で20万3千円の増でございます。合計、7451万7千円で140万2千円の増となっております。右端の丸付き数字は前のページの特徴的な事業が含まれている項目を示しております。予算の増額の要因は、特徴的な事業のほか、主に臨時職員賃金単価のアップによります。

南街・上北台につきましては、管理は地域振興課市民センター系の業務となっておりますことから、公民館では管理費の計上はいたしておりません。

5ページは各公民館費の比較が一目で出来るようになっております。次に、各館毎の事業説明をさせていただきます。

時間の関係上、予算額は読み上げませんが、本日のご審議は、まずは予算について重点を置いていただけますようお願いいたします。事業内容については、もちろん、本日のご審議でも取り上げていただいて構いませんし、次回の審議予定が事業計画ですので、次回にも追加していただくことが出来ます。

それでは、資料2、平成29年事業計画平成28年事業報告の五館合同事業をご覧ください。

前年度との比較表にし、どんな課題にどう取り組むのか、一覧性の

ある表にして欲しいとのご要望をいただき作成させていただいております。

表の見方ですが、一番左の欄が対象、次が事業名、その右に平成29年度の事業計画の事業内容、目的、期間回数、対象定員、予算となっております。またその右側に平成28年度の事業報告、講座名・事業内容、期間・回数、対象参加者数、予算、課題、今後の方向性をお示ししております。時間の限りもございますので、特徴的な事柄のみご説明させていただきます。

2段目の市民大学をご覧ください。市報4月1日号市長施政方針公民館事業の項で「東大和市では、明治時代において、多摩地区の他の地域に先駆けて自由民権運動を行っていたことから、当時の活動に関する事業の実施について検討を進めてまいります。」と示されております。

市民大学のAコースで歴史をテーマに「五日市憲法の時代を学び朗読劇をしよう」という講座を実施いたします。前半で五日市憲法や自由民権運動について学び、後半に皆さんの感想から朗読劇風に台本を作成し、狭山公民館・南街公民館まつりで発表する予定です。

平成30年度が五日市憲法発見50周年・明治維新150周年であることから、市民の皆様に関心を持っていただけるようなアピールとすることを目的にしております。

3段目の市民大学企画運営委員養成講座については、市民大学について、公民館講座からの脱却が課題となっており、別の手法を探るため、企画運営委員の養成に改めて取り組むものです。委託事業で予算は委託費となりますが、委託先との話し合いの中で、対象の「青年」枠ははずしますので、「成人」とご変更ください。

4段目の「ここがふるさと東大和の魅力発見発信し隊」は、市長会助成事業として3年間全額補助金での運営となっております。最終年ですので、4年目からの自主活動のため、組織の基盤固めをいたします。本年度のその他の五館合同事業につきましては、お読みいただけますようお願いいたします。以上でございます。

委員：ありがとうございました。ご質問があればお願いします。

委員：歳出事業費別内訳についての質問ですが、蔵敷公民館事業費の清掃委託料等委託料ですが、蔵敷公民館は28万の減となっております。例えば、同じ項目の中央公民館は126万8千円のプラスとなっております。清掃委託料等委託料とはどういったものですか。公民館によって差が生じるのはなぜですか。

尾又館長：委託は何項目に渡る委託があります。中央公民館につきましては、清掃などにつきましても規模が違いますので、すべての委託料につきまして、各公民館と比較し、金額がプラスとなっております。

狭山公民館にはカッコで外壁調査関係除くと書いてありますが、このカッコははずしていただいて結構です。下の外壁調査委託料もはずしてもらって結構です。蔵敷公民館は外壁調査関係除くと書いてありますが、平成28年度の金額には入っています。平成29年度にはそれを含め、他の委託関係も入っていることから、比較が減になっています。

委員：表現がおかしいです。外壁調査関係除くとなっているにもかかわらず、なぜ減っているのかという趣旨で聞いたんです。

尾又館長：狭山公民館のほうが、カッコをはずしていただいて、「外壁調査関係除く」を削除していただく。蔵敷公民館は一応28年度に入っていることからそのままとさせていただきたいと思います。以上でございます。

委員：他にご質問があればお願いします。

委員：参考までにお聞きしたい。中央公民館事業費増減4.1%とあります、南街と上北台が突出して増している。中身を見ると臨時職員の賃金が増していることが原因なんですね。他館は臨時職員の賃金にあまり変わりはないようです。これは何か理由がありますか。

尾又館長：昨年度の時点で、臨時職員の賃金の改正がありました。保育者賃金が増えており、予算が増えているものは賃金のアップによります。

委員：市民大学企画運営委員養成講座について平成29年度新設されます。事業内容を見るとシブヤ大学や東京にしがわ大学などの授業作りやコーディネート方法を学ぶ、青年対象で若い人を対象としていると考えられるわけです。

実はこのシブヤ大学については2014年11月に都公連の委員部会の研修会でやったのです。荻野さんが講師で公民館の活性化について色々あって、シブヤ大学の取り組みやコンセプト等の資料があります。HPでもシブヤ大学とはという資料があります。北野館長に資料はお渡ししてある。お目通しいただければと思う。

養成講座をやるにあたって、荻野さんの話を聞くことや企画委員の話しを聞くなど、シブヤ大学のすべてを踏襲することはできないと思いますが、つまんでやる方法があります。よろしく願いいたします。

尾又館長：市民大学企画運営委員養成講座の対象・定員の青年というところで

すが、委託先と相談しまして、青年を消していただいて、成人と変更していただきますようお願いいたします。

委員：他にご質問がありませんか。ないようでしたら、つづきまして、中央公民館事業についてお願いいたします。

平野係長：それでは、平成29年度の中央公民館事業について、ご説明いたします。5館合同事業の続きの中央公民館の欄をご覧ください。

上から4番目、事業名「障害者青年教室～ビートクラブ～」についてご説明いたします。ビートクラブは平成4年から行っている事業で、市内の障がいのある青年や健常者の青年の交流の場を目的とした事業です。音楽講師を中心にレクリエーション活動や音楽活動、野外活動などを行っています。福祉祭では音楽発表を予定しています。

ビートクラブは講師や、講師補助として継続的に参加して下さるスタッフとボランティアにより運営しています。予算の執行としては講師やスタッフの報償費が主となっています。

その下の「ビートクラブスタッフ養成講座」では、講座の内容に表現活動などを盛り込みながら、ビートクラブの活動を知ってもらい、ビートクラブスタッフとしての参加を呼びかけています。

続きまして、「オータムフェスティバル」でございます。青年及び青年サークルの日頃の活動成果を発表する場を提供するとともに、青年相互の交流を図る機会として開催しています。大勢の方にご覧いただけるよう、今年度も昨年度同様、産業まつりとの同時開催を予定しております。市内団体を中心に市外団体にも参加を呼びかけ、フェスティバルの盛り上がりを期待しています。主な予算額は音響機材の賃借料が324,000円程となっております。

続きまして上から7番目の「保育付講座」についてご説明します。乳幼児を持つ親を対象とし、子育て中に直面する様々な問題を、同じ立場の母親同士で考え、学び、解決していくことを目的としております。同時に子ども達は親元を離れた集団の中で社会性を身につける場となります。

子ども達の保育につきましては、昨年度より正式に0歳児の受入れを始めており、今年度も0歳児の受け入れにより「保育付講座」への参加者の範囲が広がっていくことを期待しています。

また、講座の後の自主グループ化につきましても目指しているところです。今年度も前期と中後期に分け講座を行います。前期は「幸せへの道しるべ・スマイルママ講座」を5月23日（火）から10回の予定で行います。手帳術や誕生学について学びますが、誕生学では、

土曜日に夫婦で参加できる「パパを迎えて」との回もございます。こちらは現在申し込みを受付中でございます。

続きまして、「ママ・マルシェ」についてご説明いたします。平成26年度より、保育付講座から発足したサークルのお母さん達と共催事業として「ママ・マルシェ」を行っています。参加者の得意分野を活かし、お店を出したり舞台発表をおこなったり、また、子ども達の遊びの場やリサイクル品のもってけ市などにより親子連れで楽しめるイベントとして沢山の方が来場されています。最近ではお父さんが出店を手伝っていたり、おじいちゃんやおばあちゃんと一緒の三世代で来場されたりと、異世代での交流も広がってきています。今年度も引き続き開催を予定しています。

続きまして、「中央公民館まつり」についてでございます。「中央公民館まつり」は2年に1回開催し、中央公民館利用グループの日頃の学習成果の発表とグループ同士の交流を目的としています。現在実行委員会や全体会を行い今年度のテーマを検討しています。6月17日（土）と18日（日）の開催となりますので、委員の皆様もぜひお越しください。

中央公民館事業の説明は以上でございます。説明しました事業以外の中央公民館事業につきましては、一覧をごらんください。

一覧の上から4番目の障がい者青年教室の「害」をひらがなへ変更していただくようお願いいたします。

委員：中央公民館事業についてご質問があればお願いいたします。

委員：オータムフェスティバルの予算額ですが、前年度の比較ではここが目立って増えていますが、それは特別な何か理由がありますでしょうか。それと目的は書いてあり、事業内容が検討中となっております。内容が検討中にも関わらず、予算額が比較的目標格好です。特別な意味がありましたら教えていただければと思います。

平野係長：オータムフェスティバルですが、予算のほとんどが音響機材の賃借料になっております。昨年度、例年依頼している事業者をお願いしたところ、他のイベントと重なってしまいお願いできなくなり、安価で受けていただいていたため、予算内で他の業者を探すのに大変苦労いたしました。そのような経緯もあり、いつも依頼している業者でなくても他の業者に頼んだときに足りるような形での見積もりをとらせてもらった関係で予算が増えている形となっております。以上でございます。

委員：他にご質問がありませんか。ないようでしたら、続きまして南街公

民館北野館長お願いいたします。

北野館長：それでは、南街公民館の事業計画について、概略をご説明させていただきます。南街公民館事業のページをお開きください。

まず初めに、「子どもたちとの公民館&児童館」でございます。公民館を利用している大人と児童館に遊びに来る子どもたちが遊びや体験を通して異世代間の交流を図ることを目的に実施する事業でございます。昨年度は7月に実施し、200人を超える参加がございました。今年度も7月に実施する予定でございます。

続きまして、市民企画講座でございますが、前年度まで文学講座として実施しておりました講座でございます。

前年度まで文学講座を10年間実施してきておりましたが、自主グループ化につながらなかったため、今年度は保育付の講座といたしまして、「働く女性のワークショップ&家庭と家事講座」を5月、6月に全5回、地域振興課と共催で実施する予定でございます。現役で働く女性の結婚や出産などのライフステージの変化による悩みや仕事にやりがいを感じキャリアアップを考えている方、家事と仕事の両立を目指す方を対象としたワークショップでございます。

続きまして、事業名「学習講座」と「趣味講座」についてでございますが、こちらの講座につきましては、南街公民館の特色である工作室を活用した内容で仲間作りをメインといたしました講座等を実施してまいりたいと考えております。

続きまして裏面でございます「街づくり懇談会」についてでございますが、昨年度は連続性や統一性がなかったとの反省から「老い（老後）」をテーマといたしました連続講座を事業のなかで実施いたしました。今年度も「安全・安心な住みよい街づくり」を目標に市民企画運営委員とともに事業を展開してまいりたいと考えております。

最後に、先月の4日（土）、5日（日）に開催いたしました「南街公民館まつり」でございます。2日間で延べ1,145人の参加がございまして、多くの来場者で賑わいました。この場をお借りしまして改めて委員の皆様に御礼と感謝申し上げます。

以上、お話しさせていただきました事業以外のものもございます。南街公民館の事業計画につきましては、以上でございます。

委員：説明があった事業について、何か質問があればよろしくお願いたします。

委員：南街の新春コンサートについて、毎年あるかと思いますが、何人く

らい参加されましたか。

北野館長：平成28年度の欄に書いてあるとおり254人です。

委員：他にはありますか。ないようでしたら、狭山公民館事業になります。

佐野館長：それでは、平成29年度 狭山公民館の事業計画について、ご説明いたします。説明資料の狭山公民館のページをお開きください。

申し訳ありませんが、はじめに資料の訂正をお願いします。1ページ目の1番下の地域でビュー講座の事業内容欄です。資料では「はじめての水彩色」で終わっています。「色」の後ろにひらがなで「えんぴつ」を加えてください。正しくは「はじめての水彩色えんぴつ」です。

それでは説明に入ります。最初に、子ども対象の事業です。

1番目の狭山子ども体験講座です。この講座は地域の方々を講師として、様々な体験学習を楽しく学ぶことを目的として年3回開催いたします。

次に、成人対象の事業です。上から4番目の親子講座です。幼い子どもをもつ親の学習と親子同士の交流を促進する内容の講座として行います。事業内容は今年度からは企画委員を募集して検討します。第1回企画委員会を5月31日（水）に予定しています。

続きまして、上から5番目の子育て応援講座です。この講座は、今年度から実施するものです。小学校、中学校世代の子どもをもつ親の学習と親同士の交流を促進する内容の講座を行います。内容については検討中です。

続きまして、一番下の地域デビュー講座です。内容は、定年間近な人や退職されて間もない方、現役世代の方などを対象に、地域活動や公民館活動への参加に資する内容としています。今年度は色えんぴつの使いやすさと水彩絵の具の色の美しさを合わせ持つ“水彩色えんぴつ”を学ぶ内容としました。コツをつかめば初心者の方でも簡単に楽しく描くことができるそうです。

続きまして、裏面をご覧ください。高齢者対象の事業です。1番目のわくわく教室です。高齢者の仲間づくり、生きがいを基本として、多分野にわたる学習を提供します。

以上5つの事業を説明させていただきました。その他の事業についてはお手元の資料をご覧ください。狭山公民館の事業計画については、以上です。

委員：狭山公民館事業について、何か質問があればよろしく願いいたします。

委員：わくわく教室の対象・参加者数の延べ99人とありますが、これは



毎回完結の講座だったのですか？通しの講座だったのですか？

佐野館長：申込み20人弱、7回合計で99人です。1回申し込んだ方がずっと通しで参加をしていただく講座です。1回1回募集をするわけはありません。

委員：他にはありますか。ないようでしたら、蔵敷公民館事業になります。

三宅館長：それでは、平成29年度の蔵敷公民館の主な事業について、ご説明いたします。

まず始めに、事業名「子どもフェスティバル」についてご説明いたします。過去に東日本大震災と重なり、1回中止になっただけで、今年度で32回目になります伝統ある行事です。青少年対策協議会第7地区、9地区と共催で、第五中学校にボランティア協力という形で実施しています。

地域の親子及び子どもを対象としており、ゲームコーナーや、絵本の読み聞かせ等を行います。小学生の時に遊びに来た子ども達が、中学生になってゲームコーナーで子ども達を迎えるという立場になっていることもあるようです。地域の共催事業ということで継続して開催していければいいかと思っています。

続きまして、事業名「子育て世代対象講座」についてご説明いたします。過去に保育付講座として実施していましたが、今年度より保育なしの子育て世代対象講座を実施する計画です。開催時期としては秋頃を予定しています。内容としましては、子育て中の主に女性が、地域や社会でどのように輝くかをテーマにして、グループワークを中心とした講座を検討しています。

続きまして、事業名「成人体験講座」についてご説明します。こちらは、まち歩きをテーマに実施予定です。始めに歩くことの基礎知識と歩く場所の事前学習を予定しています。例えば江戸の大名屋敷を巡るなどのテーマを取り上げるとすると、歩くことで健康を考え、歩く界隈の名所を巡ることで時代背景を学び、参加者同士で交流ができるなど五感で体感することができるかと思います。

また講座の参加者が、講座が終わった後に、参加したことで疑問に思ったことを帰ってから調べてみたり、東大和でもまち歩きを試みるなどの振り返り学習の効果を期待しています。

続きまして、事業名「外国人と市民との交流会」についてご説明いたします。市内在住または近隣の外国人に日本文化に親しんでもらうと同時に参加者同士の交流を図ることを目的として開催してきた事業は、今年度第4回目を計画しています。年々、来館者が増加しており

昨年度は370人を超え、賑わっていました。

また内容についても少しずつ前年度の反省を改善していることなどが来館者増に繋がっているのではないかと思います。市内で活動する日本語学習グループと準備会を重ねて実施しており、協力団体も増えてきています。

今後は企画と運営の主体を日本語学習グループにゆだねていく形で、市民主体となっていくことを検討しています。

昨年度より、東京都のオリンピック・パラリンピックの補助金の内容に該当するという事で事業費の2分の1の額の補助を受けて事業の運営に当てております。そちらの資金を利用して、駅貼りのポスターを西武鉄道の近隣の駅に掲示しましたが、ポスターを見たという方がいて人の往来が多いところに掲示する効果を実感しております。ただ、オリンピックが終了してしまうと補助金もなくなってしまうかと思うので、そちらを懸念しております。

その他の事業については資料をご覧くださいと思います。

また、配布させていただきましたとお礼蔵敷公民館まつりが5月27日と28日にございます。お忙しいとは思いますが、足をお運びいただければと思います。

委員：蔵敷公民館事業について、何か質問があればよろしくお願いたします。

委員：外国人と市民との交流会ですが、外国の方はほとんど日本語ができるんですか。それとも通訳の方がおられるんですか。

三宅館長：外国の方は日常会話レベルには困らない程度です。横田基地からの来館者が多かったですが、その方々はほとんどが英語のみだったので、日本人のボランティアの方々が通訳でいらっしゃり、通訳されていました。

委員：楽しそうな交流会だと思います。特徴や良かった点があれば。

三宅館長：今までは舞台発表と体験コーナーだけだったのですが、昨年度から外国人の方がブースにいらっしゃって、国の文化を紹介するコーナーを新たに設けました。こちらで、交流が増えたのかと思います。

委員：日本の文化は喜ばれますか。

三宅館長：大変喜ばれます。オープニングは外でお囃子をやったのですけれども、普段見ることができないということで。

委員：すばらしいと思います。

委員：他にはいかがですか。

委員：子どもフェスティバルについてですが、昨年度の課題が地域の子ど

もの参加が少ない、ボランティア団体の中学生の参加も少ない、というところ。しかし、継続していく。目的のところは地域の団体と共催、協力し、地域子ども及び親子の交流を深めると、ここを継続していく苦心をもう少し詳しく教えていただきたい。

三宅館長：もともと地域の団体が過去には参加していただいたのですが、解散する団体が増えてきて、一旦参加者が減りましたが、昨年度から増える傾向になりました。各団体とも相談して、見直しをはかったのですが、子ども達が楽しみにしているということと、過去に参加した小学生が中学生になって、ボランティア側にまわる大切さを考えていくと事業として続けたほうがいいのかということになりました。

委員：ありがとうございます。他にはいかがですか。

委員：事業の三番目の青年のところですが、過去三年間実施してきたものがカットになっています。私は昨年参加させていただいて、参加は少なかったのですが、中には引きこもりや親の方が参加されていて、講師の方も非常にいい方が選ばれていました。地味だけど非常に良い講座だなと考えていました。29年度はないので、残念に思っています。今後の方向性のところに、一つの館だけで、継続していくのは難しいからと書かれています。参加者は少ないのかもしれないのですが、蔵敷だけではなく考えていってほしいです。

青年対象のものを全体見渡して見たときに、中央公民館のビートクラブ、上北台の読書絡みの事業程度かと思えます。少し寂しいです。今後のことも考慮していただければと思います。なくなった理由をお話伺いたいです。

三宅館長：今後の方向性ということで、ひとつの公民館において過去3年間取り組んでいまして、引きこもりや不登校について学んできたのですが、人が集まりにくい講座をどのようにやっていくべきか方向性がみえなくなってきました。

一旦立ち返って、蔵敷公民館だけで取り上げるのではなく、不登校を支えるグループがある狭山公民館など、地域を変えて取り上げていければと思ひ、課題とさせていただきました。今年度は、蔵敷公民館の自主グループは減ってきておりますので、自主化につながる講座を行います。予算が余れば、課題として考えていきたいと思っています。

尾又館長：現状ですと、各館で青年の課題について取り組もうということはどうもありません。各館で市民企画講座がございますので、そちらのほう

に皆様お仲間を誘っていただいて、そのようなテーマで企画講座のほうを実施していただくこともひとつの手法かと思います。あとは、ご要望承っておりますので、青年が東大和の中でいきいきとできる取り組みは必要であり、市民大学でもしっかり探っていくべきというご意見いただいております。できれば青年の方にたくさん企画運営委員養成講座に参加していただき、青年の方たちが参加していただいて、同じような課題を見つめていただいて、市民大学も生きてくるかと思います。ぜひ市民大学養成講座に若い方も求めているということを委員の皆様からも東大和市内の若い方にもお声かけしていただいて、青年についての課題の取組みも公民館にしっかり根付いていただければと思いますので、今後とも、ご協力よろしく願いいたします。

委員：ありがとうございます。狭山公民館の新規事業で成人の子育て応援講座については、似た内容という解釈はできますか。

佐野館長：小学校、中学校世代の子を育てる上での悩みを抱える方々がいるのかなというところを、話し合ったり、語り合うことで少しでも和らげていただけるような場づくりや仲間づくりができればいいかなというイメージです。先ほどの青年事業とは若干違うかもしれません。

委員：委員どうですか。思春期の子を持つ保護者や思春期の子と関わる方のところが、蔵敷公民館から一旦消えていくような形となります。それが狭山公民館のテーマとしては違ってきますが、内容としては似ているような講座は保護者の立場からするともっと増やしたほうがいいのか、感想をお願いいたします。

委員：どこでやっているのか、情報を得られれば、同じ市内で行けると思うので、そういうものがありますということを情報発信してもらえればと思います。

委員：蔵敷公民館について、他はいかがでしょうか。次に上北台公民館お願いいたします。

蓑田館長：それでは、平成29年度の上北台公民館事業についてご説明いたします。

上から2番目、事業名「次世代育成講座」についてご説明いたします。内容として大きく分けて2種類の事業をしております。

一つは工作キット作成です。講師陣を複数施設で小学生を対象に工作を教えていらっしゃるグループのガリレオクラブの方々をお願いし、上北台公民館の遊空間枠として開催する可能性があります。

もう一つの「アラ中読書会」でございます。参加者は少ないながら、

小学校6年生のときに来て、友達を誘って中学生になって来てくれる人ですとか、高校生になっている人、就職しても来てくれる人がいます。中学2年生と同じ本で盛り上がっていたりしています。普段の生活空間とは違うところでの居場所、異年齢交流の機能を果たしていると思います。人数が固定していますので、昨年度は新規参加者の発掘を兼ね、小学生に人気のある作家をお呼びして、「アラ中講演会」を行いました。普段の読書会参加者と企画し、どの人を呼びたいか、市報の原稿を練り上げたり、当日は準備から片付けまで、サイン会を行ったんですけれども、その仕切りも中高生で実施しました。小学生に人気の作家だったので、いい機会になったかと思います。

今年は大きなイベントは予定していませんが、参加者が今年で中学一年生になったのでまた来てくれればいいなと思います。

続きまして、2つ下の事業名「保育付講座」でございます。平成11年度より上北台公民館の保育付講座は年間1講座でしたが、ここ数年、予算のやりくりがつく場合は、もう1つ臨時で保育付講座をやった年もあるんですけれども、今年度からは2講座分の保育者賃金を当初から用意しまして、保育室のない公民館枠から戻したことにより、2講座といたします。前期開催講座は、現在募集をしているところで、保育室は12名定員ですが、おかげさまで定員を超えたところです。初めて保育室を親子ともに使う方が半分くらいお申込みにきているので、新しい方を是非を入れて実施していきたいなど。子育て中の女性に関心の高い内容になっているんですけれども、「食育」をテーマにします。保育室利用じゃない方もご参加いただけるように募集人数は30人、座学が中心なので、大目に設定してあります。

もう1講座については、年度の途中から市民企画委員を募集して、相談しながら作っていく「市民企画地域課題講座」で保育室を設置いたします。どの講座を保育付とするかは固定とせずに、年度ごとに検討していく予定でございます。

続きまして、1つ下の事業名「やりがい講座」でございます。昨年度は健康麻雀を実施し、公民館運営審議会委員の委員にご尽力いただきました。おかげさまで初級、中級クラスと2グループが発足し、毎週1回の活動が定着しております。今年度は5月下旬からデジタルカメラ講座を開催予定でございます。

続きまして、次のページ2つ目の上北台公民館まつりでございます。先日、第1回目の役員会が開かれ、日程を10月21、22日の土曜日・日曜日で開催することとなりました。ご多忙とは存じますが、ご

都合をつけていただき、ご来館いただけたらと思っております。

最後に保育室を考える会・上北台についてです。これは保育室を設置している3館にそれぞれあり、それぞれ年数回開催しています。普段は会うことがない保育室を利用している全グループが一堂に会し、保育者と公民館職員と3者で保育室のあり方、子育てについての情報交換などを行っております。また、3館合同の会議から、毎年、公民館に対して要望書提出も行っております。保育室利用については上北台公民館を含め、保育室を利用する自主グループが、会員獲得に苦勞している状況がございます。保育室を通しての親子の育ちを実感した人たちが、「公民館保育室を知ってほしい」とブログ「東大和公民館保育室でm a m a & b a b y 友作り」を立ち上げました。ぜひ、ご覧ください。上北台公民館事業の説明は以上でございます。ご説明しました事業以外の上北台公民館事業につきましては、一覧をお読みください。

委員：利用者懇談会について他館は予算をとっていないようですが、上北台公民館は予算を取っています。特別何か工夫をして懇談会をなさっているのかなと思うんですけども、内容をもう少し詳しく教えていただければと思います。参考にさせていただきます。

蓑田館長：利用者懇談会そのものは他の館同様に公民館職員が司会しながらしているものです。これは保育者の賃金予算です。グループ活動講習会と利用者懇談会は保育室のある館は必要があれば、保育室を開設して、お子さんは保育室を預けて、大人だけで議論ができるよう、予算の措置を毎年しています。その金額です。なかなか希望者が少なく、抱っこで来る方もいらっしゃるため、使っていない実態ではあるんですけども。数年前と数字があがっているのは、上北台が予算のやりくりをして行ったときに講師謝礼しか実績にあげていなかったですが、講師謝礼以外にも計上している予算をあげました。

委員：よくわかりました。

委員：他はいかがでしょうか。

委員：やりがい講座の健康麻雀について説明させてください。麻雀に対するイメージは非常にマイナーでした。公民館の講座でとりあげていただけて、非常に嬉しかったです。

私はコーチを頼まれて、説明したのは健康麻雀の効用です。健康麻雀の何にいいか。これはご存知のとおり認知症の予防、いわゆる頭は使うし、手先は使う。自動はやらずに指先を使うんです。人とのコミュニケーション・仲間づくりに関して、麻雀は勝負ごとですから、マナーやルールをきちんと守ってやるということは、本当に仲間づく

りに最適です。

東大和市の健康麻雀サークルの実情は私が知る限り5つくらいあるんですけれども、長い期間やっています。13年くらいやっている人などいらっしゃる。講座を作って募集したら、定員以上の応募があり、枠を増やして対応しました。各マスコミに非常に取り上げてもらっている。自治体としても健康麻雀を応援している自治体があります。品川区や中野区など、なぜかと健康保険税を使うより、そちらのほうが安いということで応援してくれます。文化協会に文化として取り扱って欲しいと言いたいくらいです。ひとつ皆さんもできれば応援していただければ大変ありがたい。山崎さんのお子さんも一生懸命やってくれた。遊ぶ楽しさとしては室内競技では一番おもしろいと思う。

委員：うちの子供達は怒られたことも経験しましたが、その後、中央公民館でやったときには「自分のことを覚えてもらった」とすごく喜んで帰ってきました。世代を超えた交流もすごくあり、力のあるグループだと思います。本当に感謝しています。継続を願っております。

委員：遊び体験塾では健康麻雀もブースをひとつ設けていただいて、委員のご息もみえられた。

委員：他はいかがでしょうか。

委員：全体に対してなんですけれども、麻雀のグループが2つできたというお話を伺って、この表のつくり方ですが、平成28年度のところで「課題」としかないんですね。皆さんが謙虚に課題と書かれているわけですが、成果も実際にはあったわけです。例えば1つの講座をやってグループ化したとか、グループ化できそうだとかせめてそういうことは、とても大事なポイントだと思うので、課題だけではなくて、成果を次回からでも記入して欲しい。特にグループ化の情報は残していただき、私達も知りたいと思います。

尾又館長：課題と成果というふうに項目のタイトルは改めたいと思います。各担当には、課題のところにも成果についても書くようお願いしておりますので、最後の行あたりにグループになったと出ているものについてはグループ化ができたということになります。

委員：では以上について、公民館事業についての審議を終了します。